



私の国際交流 — My International exchange experience —



勇気もらった 海外高校生との交流

大西優太郎さん VOL.10

私は愛媛大学の2回生です。高校1年の夏、八幡浜市で行われた「第23回海外高校生による日本語スピーチコンテスト」にボランティアで参加しました。このコンテストには16の国と地域から高校生たちが出場。話の内容や表現力などが審査されます。出場者との交流パーティーもあり、人見知りだった私は「言葉や文化の違う彼らとうまく話せるかな」と、不安な気持ちでいっぱいでした。

最初に衝撃を受けたのは、彼らの流暢な日本語です。使う言葉もテーマも、外国語である日本語を完璧に自分のものにしていて、そのレベルの高さは私を含む日本人高校生が委縮するほどでした。テーマは「新撰組と蛙」や「日本一の男、坂本龍馬」など、興味深いものが多かったです。中でも印象的だったのは、外見の逆境を乗り越えて送った学校生活を語ったシンガポールの女性でした。大勢の前で自分を表現する姿や、日本語を学ぼうとする熱意に感銘を受けました。

彼らの一生懸命な姿に勇気もらい、当初の不安は興味に変わりました。引率の先生からも「彼らの方が上手だから、心配せずに話しておいで」と言ってもらい、勇気を出して話せば楽しく交流できることを知りました。

それ以来、私は海外の人との交流を楽しみにしています。ドイツフェスタに参加したり、海外からのホームステイを受け入れたりもしました。昨年12月からはプランナー会にも参加しています。アフターコロナになりつつある今、いろいろな国際交流が再開することを心待ちにしています。20歳になったので、次回のドイツフェスタはみんなでドイツビールを飲んで楽しみたいですね。



平成29年に参加したドイツフェスタでの交流

活動リポート



国際色豊かなたすきリレー

1月15日に開かれた「第16回内子町駅伝競走大会」に国際交流協会チームで参加しました。駅伝は日本発祥で、海外では近年まで行われていませんでした。C I Rのジェニファーさん、A L Tのトップマンさんとパトリシアさんにとっては、見るのも走るのも初めてです。3人は「こんな寒い時期に大会があることに驚いた。楽しめたので来年も走りたい」と笑顔でした。

図書館 へ 行こう

令和4年度読書マラソン

今年度は季節ごとに4回実施し、延べ340人が挑戦して216人が目標を達成しました。来年度もぜひご参加ください。

ファミ読賞が決定しました

読者おすすめのファミ読本を紹介するカードやポップ24点が集まりました。応募者の中から6人に「ファミ読賞」を贈ります。応募ありがとうございます。

図書寄贈のお礼

今年度、次の皆さんから図書を寄贈していただきました。大切に使用させていただきます。

▽河内迪子様／双日様／(株)西

瀬工務店様(順不同)

●3月企画展のご案内

《郷土が生んだ芸術家③》

「おはなし会」

▽土曜日・午後2時

3月4日 むしこまど

11日 むしこまど

(エコの目)

18日 むしこまど

25日 どんぐり会

「文学講座」

▽3月11日(土) 午前10時

▽内容 『紫式部日記』を読む

でみよう

▽講師 村山洋子さん

新着図書紹介

その他の新着情報はホームページをご覧ください。

♣一般図書



平日おひるごはん

おひるごはん研究会／編集

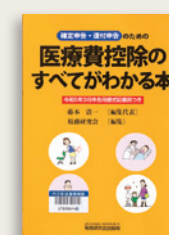
昼ごはんの場所やメニューは、食べる人の環境やライフスタイルによってさまざま。生後6カ月から90代まで総勢92人のリアルな昼食を紹介



きみと真夜中をぬけて

雨／著

不登校の私は、いつも近くの公園で夜を過ごしている。あるとき同い年の男の子と公園で出会ってから、何気ない日々がいとおしくなって……



医療費控除のすべてがわかる本

医療に関する支出が控除対象かどうかは、意外と複雑で分かりづらい。医療費控除のさまざまな疑問を、具体的な質疑応答で分かりやすく解説する

♥児童図書



うちのコロッケ

谷口國博／文、村上康成／絵

朝の食卓で、お父さんが「今日の晩ごはんはコロッケに決定！」と宣言した。そうと決まればジャガイモ掘りから。家族の食卓がテーマの絵本



ダイバーシティとSDGs

稲葉茂勝／著、こどもくらぶ／編

さまざまな個性を認め尊重し合う多様性社会と、SDGs(持続可能な開発目標)との関連を考える。多様性を解説するシリーズの第1巻



ジャングルジム

岩瀬成子／作、網中いつる／絵

目を真っ赤にして玄関に立つお姉ちゃん。靴は泥で汚れていて……。『今』を生きる子どもと大人、そして全ての家族に贈る物語全5編